

初めて書く論文は母語の日本語で！

“第22回若手研究者の初論文特集” 募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2023年（第72巻）に第22回「若手研究者の初論文特集」を企画し、下記要領で論文を募集します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

2004年の第53巻分から、優れた初論文の筆頭著者に対し、“「分析化学」若手初論文賞”を贈呈しております。2021年の栄えある受賞者については、「ぶんせき」誌2022年第4号（162ページ）をご覧ください。本初論文賞は今回も贈呈の予定です。

「分析化学」誌では、“報文”，“技術論文”，“ノート”，“アナリティカルレポート”などの各論文種目をもうけ、研究内容に応じて掲載できる体制を整えています。また「若手研究者の初論文」であることを考慮して、編集委員会もできる限り支援致します。

学術的審査を経て、伝統と歴史ある「分析化学」誌に掲載された論文は、著者にとって一生の宝であり、財産であります。このような学術論文は、人類の知的資産として永遠に受け継がれ、学術、社会の発展に大きく貢献します。額に汗して得た研究成果は、埋もれさせることなく広く公開されることにより、人類の役に立ち社会に還元されます。

自分のアイデア、研究成果を自由に表現できる母語の日本語で、初めての学術論文執筆にチャレンジしてください。先生や先輩に指導をいただいて、論文作成法を習得する良いチャンスにもなります。これは大変貴重な経験であり、次の新たなステップにつながることでしょう。このチャンスは一度しかありません。多数の方々からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 特集の題目：第22回若手研究者の初論文特集

2. 応募資格：筆頭著者としての初めての投稿論文であること。もちろん、投稿は卒研究生、修士・博士課程院生に限らず、企業等の方々の投稿も大歓迎です。共著者にベテランの方が加わるのも一向に差し支えありません。なお、他の特集と兼ねることも可能です。他の特集と兼用の際は、投稿カードの特集名は兼用する他の特集名を選択し、「申告書」欄に「若手初論文特集兼用」とご記入ください。兼用されない場合は、投稿カードの特集名は「若手初論文」を選択してください。

3. 論文の種類：報文、技術論文、ノート、アナリティカルレポート。

4. 審査方法：一般論文の審査方法に準拠。

5. 投稿方法：「投稿規定（<https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/kitei.html>）、投稿要領（<https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/youryou.html>）」を参照し、論文投稿フォーム（<https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/toko.html>）よりご投稿ください。

6. 2023年「分析化学」若手初論文賞の対象：2023年（72巻）1号～12号掲載の「若手研究者初論文特集」論文の筆頭著者。

7. 特集論文に関する問い合わせ先：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号（公社）日本分析化学会「分析化学」編集委員会（電話：03-3490-3537、E-mail：bunkatoukou@jsac.or.jp、URL = <https://www.jsac.or.jp/~wabnsk/>）